

なりかわ

成川まさゆき後援会

〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7

TEL & FAX (0765) 57-1189

Mail/masa.narikawa@gmail.com

黒部を未来へつなぐ

まさゆきの8つの想い

1. 観光地整備と情報発信力の強化
2. 住み続けたいと思えるまちづくり
3. 安心・安全なまちづくり
4. 都市基盤の整備
5. 人口減少時代のまちづくり
6. 災害に強いまちづくり
7. 働き場所のあるまちづくり
8. 生き活きと生活ができるまちづくり

◎ 議会質問の成果と課題
 今まで議会で質問して変化のあった主な項目をピックアップしてみました。

平成26年12月議会
 1. 立山黒部ジオパーク推進について
 平成28年11月臨時議会で特別委員会設置。委員長になりました。

平成27年3月議会
 1. 移住定住促進について⇒平成29年「(仮称)移住定住推進協議会」創設、事業費(平成29年@3,851千円)
 2. 観光振興について平成28年から計画がない▼平成29年黒部市観光振興計画を策定しました。

平成27年6月議会
 1. ペットと暮らせる特色ある地域について
 ◎犬の鑑札・狂犬病予防注射票を小型

犬にも合う形状に！▼平成28年から形状変更で小さくなりました。
 ◎市防災訓練にペット同行避難訓練の導入を！▼富山県で唯一、訓練を実施しています。(平成27年村橋、平成28年浦山)

平成27年9月月議会
 1. 子どもの貧困対策▼平成29年5月に黒部市子どもの貧困支援体制整備計画策定されました。
 2. 人口減少時代の観光戦略
 ◎外国語のサイン表示やパンフレット制作の支援▼おもてなしピクト・多言語化推進補助金(平成28年@1,000千円、平成29年@500千円)

平成27年12月月議会
 1. 福祉避難所について▼平成29年3月6日に3施設(むつみ園・新川総合支援学校・黒部学園)と締結し、6施設になりました。現在、県内168か所。
 2. 障害者差別解消法の対応について

◎市の対応要領作成を▼平成28年4月「障がい理由とする差別を解消するための黒部市職員対応要領」作成されました。
 ◎学校の支援体制の充実を▼スタディメイト(平成27年@25名↓平成28年@27名↓平成29年@28名)2年連続増員されました。

◎今後、注目の項目
 質問後に世の中が変化してきている項目です。

平成27年12月議会
 都市間連携について

◎富山県内では、とやま呉西圏域(南砺市、砺波市、小矢部市、氷見市、◎高岡市、◎射水市)があり、さらに富山市が(◎富山市、上市町、立山町、舟橋村、滑川市、飛騨市、高山市)圏域を目指しています。県内に残るのは(◎魚津市、◎黒部市、入善町、朝日町)の4自治体。連携すれば交通、福祉、医療、観光など様々な事項について取り組めます。

平成28年3月議会
 オープンデータの活用

◎平成28年12月官民データ活用推進基本法成立し、努力義務ですが市町村による市町村官民データ活用推進計画の策定が求められるようになりました。民間が推進する code for Kurabe の立ち上げが話し合われています。

平成28年6月月議会
 食品ロス施策について

富山県が、まだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」の県内の年間発生量を2万8千トンとする推計値を3月に初めて発表しました。今後、食品ごみの削減を県民運動に発展させ、具体的な削減目標を定めるとしています。本市の取組にも注目です。

平成28年9月議会
 地籍調査の推進について

昨年末に発生した糸魚川市火災で地籍調査の重要性があらためてクローズアップされました。



黒部は今、分岐点！
 先人の努力を次世代へつないでいきたい。



黒部市議会議員
 なりかわ

成川まさゆき

facebookで活動公開中！

平成28年12月議会

(質問)

1 生涯学習推進について

(1) 介護予防運動教室や地域サロン利用者の現状は

(答弁)

平成28年度9教室381名、水中ウォーキングや市民会館及び市民病院で行う体操教室などに申込みが殺到している。

また、地区公民館等を拠点にした介護予防活動では、13地区45教室が開催され、開催地区や教室数は年々増加している。

(2) 生涯学習メニューが健康寿命の延伸に繋がっているという認識はあるのか。また地域包括支援センターは把握しているのか

(答弁)

世代間交流や外出機会として健康寿命の延伸に貢献しているものと認識している。センターも概ね把握し、必要に応じて高齢者の方へサークルや教室の紹介をしている。

(3) 生涯学習「(仮称)黒部字び合い大学」創設の検討をしては。

(答弁)

直ちに取り組む状況ではないが、産官民の既存事業の枠組みの中で連携を強化し、各種事業間の新しいマッチングの可能性についても検証をしていきたい。

まさゆきの視点

方法はどうかあれ、家に閉じこもるのではなく、外出し、交

流する事が介護予防につながる健康寿命延伸につながるものと考ええる。情報が届くように、そして参加しやすいようにして欲しい。

2. 観光振興について

(1) 新幹線に頼らない地元に向けての広報・観光戦略について

(答弁)

観光のオフシーズンをなくし、観光の周年化を目指し、地元に向けた観光戦略が大切である。今後の取組みとして、地域の魅力をしっかりと認識し、発信できるよう、まずは地元から利用体験すること。このことから来年度には、「黒部峡谷パノラマ展望ツアー」の市民向け体験会の実施を検討しているほか、今後は新緑や紅葉などの魅力をタイムリーに発信するよう、地域全体としての情報発信力を高めていく。

(2) 日本版DMO制度の導入に対する市の考え・状況について

(答弁)

地域の観光戦略として「稼ぐ力」を引き出し、観光地域づくりを実現するための戦略を策定・実践する日本版DMOは有用である。

現在、観光局で日本版DMOの形成に取り組んでおり、まずは民間レベルでの連携、取組みが更に進むよう支援する。

(3) 複数の広域観光推進団体の

考え方、棲み分け、一本化について

(答弁)

新川地域には、広域観光を推進する組織が複数存在し、出向宣伝や広域パンフレットの作成など、事業が重複しているものもあり、事業内容の棲み分け、あるいは、それぞれの団体の個性・特徴を生かした事業の実施、団体間の連携などが課題である。

現段階において、ただちに一本化というのは難しいが、それぞれの団体の特徴を活かされるような事業の選択と、団体間の連携に努める。

現在、3団体のうち2団体の事務局を行政が担っており、将来的には事務局を民間が担うことで、民間同士の連携が進み、民間のノウハウを活かした運営、効率化が図られるのではないかと考えており、今後、関係者関係団体とも相談していく。

まさゆきの視点

観光は地域間競争。選ばれるまちになるために分散した手力を一つにしていく取り組み事が重要だと考えます。

平成29年3月議会

1. 郷土芸能・伝統文化の継承について

(質問)

(1) 黒部市には、郷土芸能、伝統文化などが、現在どれだけ存在しているのか。また、それらを大切な宝であると認識がある

のか。

(答弁)

無形民俗文化財7行事、「獅子舞」(14箇所)や盆踊り(12箇所)、左義長(11箇所)、「おおべっさま迎え」(3地域)などが存在し、郷土芸能や伝統文化は、地域の大切な宝であると認識している。

(質問)

(2) 現在、認知させるため、またその価値に気付かせる為に行っていることはあるのか。

(答弁)

平成14年度から「伝承芸能・伝承技術士」の認定制度を設け、それぞれ保存活動され技術の伝承、後継者の育成に努めている。今後も継続していく。

(質問)

(3) 郷土芸能の支援と指導者や後継者育成の現状をどう考えているのか。

(答弁)

「伝承芸能・伝承技術士」は、地域の皆様が誇りをもって、次世代へ継承していこうと、取り組まれている表れであると感じている。しかし、少子高齢化に伴い、伝承文化を支えきれず継承が難しくなってきた。一方策を地域とともに考え、保存に努めていく。



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください。

<後援会連絡先>

成川正幸(なりかわ まさゆき) TEL(0765)57-1189

黒部市植木107-7 FAX(0765)57-1189

携帯090-1317-7155 Mail: masa.narikawa@gmail.com

(質問) (4)「ふるさと教育」を積極的に進めていけないのか。

(答弁)

祭礼や放課後子ども教室推進事業において、子ども達が参加できる機会を作っており、小中学校においても子どもたちが喜んで参加できるよう支援している。今後も積極的に取り組んでいく。

(質問)

(5) 未来を見据えて冊子、あるいはデジタルでまとめる準備を始めてはどうか。

(答弁)

現在は、少しずつ調査を進め、まとまったものから展示紹介している。積み重ねていくことで、やがて、デジタルでまとめられるか、さらなる情報発信の方策を検討する。

(質問)

(6) 現在、そして10年後にはどうなっていると思うかを知ることが、聞き取り調査を行ってはどうか。

(答弁)

現状把握に努めている。さらに現状として、地域が、どのように考えるかも含めて調査することは可能であり、今後も、現状の把握に努めていきたい。

(質問)

(7) 郷土芸能、伝統文化だけではなく、史跡なども含めて、今後(10年後)の存続が危ぶまれる。

「黒部市危機遺産リスト」の作成をしてはどうか伺う。

(答弁)

存続危機は認識しているが、「黒部市危機遺産リストの作成」については、現時点で実施することとは、難しいと考えている。

まさゆきの視点

地域の宝である郷土芸能、伝統文化などを伝承していくのは簡単なことではなく、実際に消えてなくなっているものも多く存在する。時間は待ってくれない。それが実際に益踊りという郷土芸能を伝承している自分自身を含めた伝承者の声である。

今回提案した黒部市危機遺産リストは今後も働き掛けていくし、自分で少しずつ作成していきたいと思う。

2 公民連携 (PPP) について

(質問)

(1) 本市において公民連携の仕組みと必要性について、どのような考えか伺う。

(答弁)

本市でも、PFI事業を活用するなど、公民連携に取り組んできた。

今後、必要に応じて導入の可能性を検討していくべきものと考えている。

(質問)

(2) 気軽に相談できる窓口の開設や意見交換会、セミナー開催

などを検討してはどうか伺う

(答弁)

「こやま地域プラットフォーム」において、民間事業者や金融機関、公共団体を対象としたセミナーや意見交換会に参加し知識の習得・理解に努め、今後、機会を捉え広く市民へのPRも図っていく。

(質問)

(3) NPOなどの市民団体の支援について伺う

(答弁)

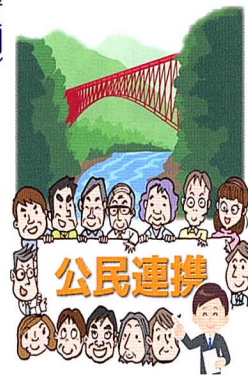
支援というよりも、団体の自立を促し、その活動のサポートにつながる情報提供や事業連携などを進めていきたい。

(質問)

(4) 公民連携について、目的、考え方、導入範囲など一定の決まりである「指針、ガイドライン」を本市において策定してはどうか伺う

(答弁)

平成22年に「黒部市協働のまちづくりガイドライン」を策定し、少しずつではあるが、協働の理念が広まっている。しかし、民間の活力や資金を活用し、公共サービスを実施するという意味での公民連携に関する指針やガイドラインは現在策定してい



ない。今後、先進事例等を調査研究していきたい。

まさゆきの視点

人口減少・少子高齢化で税収が減り、求める仕事も多様化する中で今後、行政の役割も時代と共に間違いなく変化してくる。変化するスピードも速くなっていくのではと感じている。協働という枠組みから公民連携へ。良い答弁はいただけなかったが、今回の提案で一石を投じたと自己評価である。

新川地域介護保険ケーブルテレビ事業組合議会でも質問しています。

- ・ H27・8在宅サービスに関わる看護師の現状と今後について
- ・ H27・12介護保険法改正後の状況について②介護職求人推移について③第1号被保険者保険料の基準額について
- ・ H28・2ケーブルテレビで介護予防教室や地域サロンに支援・連携する番組の検討を。
- ・ H28・8「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」について
- ・ H28・12①介護職員確保について
- ②情報発信について
- ・ H29・2①介護相談員について
- ②介護職員教育の推進について



I LOVE KUROBE

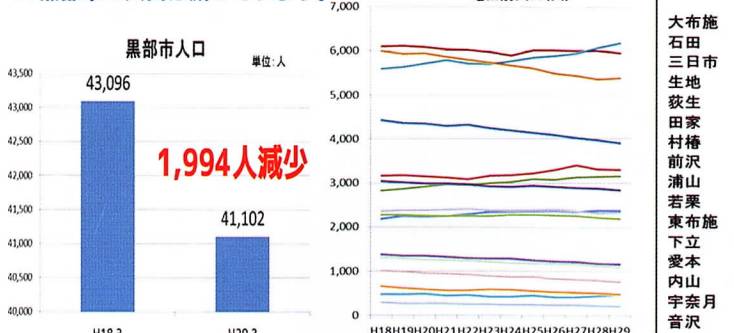


選ばれるまち・住み続けたいまち“くろべ”

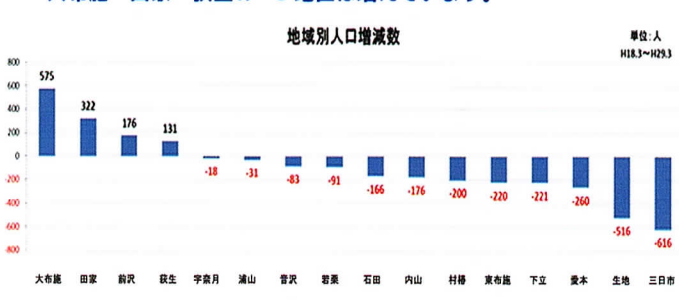
～市町村合併の平成18年から現在までの人口移動～ (市HP 住民基本台帳より)

日本は人口減少時代に突入しました。ここ黒部市でも例外ではありません。
今回はどうしていくのかではなく、現状だけ知ってもらい、みんな考えていけたらと思ひ掲載しました。

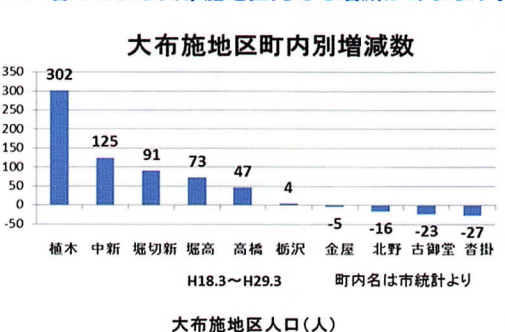
1. 黒部市の人口は減っています。



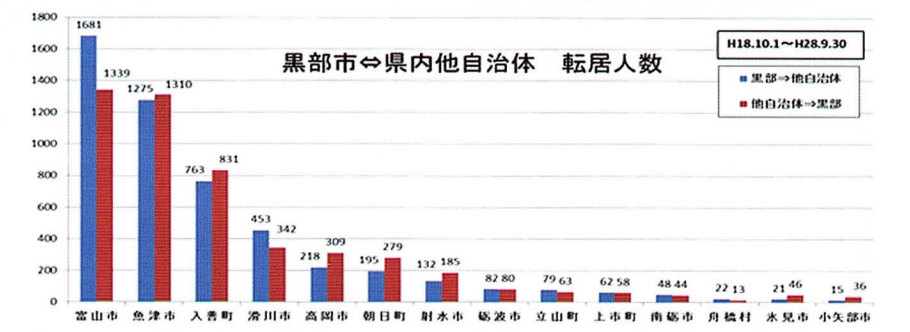
2. 地区別に見みると増減があります。黒部市人口は減っていますが、大布施・田家・教生の3地区は増えています。



3. 増えている大布施地区内でも増減があります。



4. 黒部市に出入り人数の多いのは、どちらも①富山市②魚津市③入善町でした。



5. 平成27年度に行われた国勢調査からの人の動きです。※富山県HP統計情報ライブラリーより

	H22国勢調査	H27国勢調査	H22⇒H27人口		H29年3月1日	H27⇒H29.3.1	
	人口(人)	人口(人)	増減数(人)	増減率(%)	人口(人)	増減数(人)	増減率(%)
黒部市	41,852	40,991	△861	△2.1	40,723	△268	0.7
魚津市	44,959	42,935	△2,024	△4.5	42,350	△585	1.4
入善町	27,182	25,335	△1,847	△6.8	25,025	△310	1.2
朝日町	13,651	12,246	△1,405	△10.3	11,823	△423	3.5
滑川市	33,676	32,755	△921	△2.7	32,656	△99	0.3
富山市	421,953	418,686	△3,267	△0.8	417,778	△908	0.2



なりかわ facebook で活動公開中!
成川まさゆき



なりかわ
成川まさゆき後援会
〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7
TEL & FAX (0765) 57-1189
Mail/masa.narikawa@gmail.com